

京都府WITHコロナ・POSTコロナ戦略のとりまとめについて

■位置づけ

京都府総合計画（令和元年10月策定）について、コロナ禍による影響を点検しWITHコロナ・POSTコロナ社会を見据えた戦略の検討を開始。200名を超える有識者から意見を聴取し、コロナ禍を踏まえた総合計画推進のための取組方針としてとりまとめ。

■基本的な考え方・主な施策展開の方向性

① 歴史・文化に裏付けられた「本物」の京都の魅力や強みを高め、活かす

- ・ 歴史、文化、伝統など京都の各地域の魅力を共有できる京都ファンコミュニティを構築【産業】
- ・ 新たな市場開拓を推進する主体となる「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を設置【産業】
- ・ 文化庁移転や大阪・関西万博をターゲットとした日本文化の伝統・魅力の発信【文化】
- ・ 地域課題の解決や地域産業に貢献する人材の育成など、大学生16万人の「学生の力」を活用【府民躍動】

② 地域や社会とのつながりや人々との絆を大切にし、共感し合える社会を目指す

- ・ 生涯現役クリエイティブセンターを活用し、企業在職中からセカンドキャリア形成のための交流等を支援【府民躍動】
- ・ 官民連携のプラットフォームを活用した、災害時の災害情報の発信・広域避難体制の構築【安心安全】
- ・ オール京都の「子育て環境日本一推進会議」を通じた、社会全体で子育てを見守り支え合う環境づくり【子育て】
- ・ 多様化する移住ニーズや働き方に対応した、移住者が地域の担い手として活躍できる地域づくりを推進【地域】

③ デジタル化への対応など生活様式の変化を踏まえた社会ニーズに応える

- ・ 雨量予測等をもとにデジタル技術を活用した災害発生前からの「予測に基づく先行的な防災」の取組の加速化【安心安全】
- ・ スマートファクトリーやWEBマーケティングなど、開発から販路開拓に至るまでのDXを推進【産業】
- ・ 「リアル」と「バーチャル」の双方による日常的な文化体験の場を拡充【文化】

1 新しい次元の安心・安全の確保

■概要

- ・感染症の拡大や気象災害の激甚化といった事象に対応し、府民への正確な情報提供と不安の軽減対策等を展開
- ・デジタル技術を取り入れた予測に基づく先行的な取組を展開することにより、新しいレベルの安心・安全を確保
- ・府民の行動変容を脱炭素の取組につなげて、緩和策と適応策の両面から環境・経済・社会の好循環を創出

■主な施策の事例

医療・人権

- 感染症まん延防止対策の継続・強化により、府民の健康を守り、感染症に対する府民の不安を軽減
- 医療従事者への支援・医療提供体制の確保により、感染症対策の長期化に対応
- 正確な情報発信・インターネット上のモニタリングにより、感染症に対する差別等を防止

防犯・防災

- 防犯・交通安全教育のオンライン化、防犯情報等の映像配信など、コロナ禍に対応して府民生活の安心・安全を確保
- 官民連携のプラットフォームを活用した、災害時の災害情報の発信・広域避難体制の構築
- 雨量予測等をもとにデジタル技術を活用した災害発生前からの「予測に基づく先行的な防災」の取組の加速化

脱炭素

- 風力・バイオマス等の再生可能エネルギーの導入加速化により、「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」を実現
- 気候変動適応策の推進拠点の設置により、気候変動に起因する環境への影響などを分析・情報発信

2 府内経済・産業の再生・再構築

■概要

- ・京都の持つ文化や高度な技術を生かすことで、持続性の高い社会を牽引する「価値創造型産業」を構築
- ・働く人が誇りややりがいを持ち、多様な働き方ができる産業社会を創造
- ・多様な主体との連携・交流を深めることで、イノベーションを誘発させ、京都産業を深化させる施策を展開

■主な施策の事例

商店街・小売業

- 京都の中心商店街のブランド力強化や観光誘客と連動した商店街づくり
- 商店街の空き店舗等を活用した地域課題対応型の事業を展開

ものづくり

- スマートファクトリーやWEBマーケティングなど、開発から販路開拓に至るまでのDXを推進
- 大学や研究機関等の研究成果を用いたA I系大学発スタートアップの創出・育成

伝統産業

- 新たな市場開拓を推進する主体となる「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を設置
- 世界市場への展開に向けた、市場価値と文化価値の伝達ができる人材を育成

観光産業

- 歴史、文化、伝統など京都の各地域の魅力を共有できる京都ファンコミュニティを構築
- ものづくり、伝統産業、小売・サービス業など、業界の垣根を越えた企業連携による新事業創出を支援

食関連産業

- Eコマースを活用した、国内外向けの販売拡大支援や、それに応えられる農産物の産地づくり
- 「食」を科学するオープンイノベーションラボの設置・運営により、食のイノベーション人材を育成

3 子育て環境日本一

■概要

・結婚や妊娠・出産、子育てに夢や希望が持てるよう、社会全体で子どもや子育て世代をあたたく見守り支え合う、オール京都の推進体制により、子育てにやさしい風土づくりをはじめ、子育て環境日本一の実現に向けた取組をきめ細かに粘り強く推進

■主な施策の事例

風土・地域・まちづくり

- オール京都の「子育て環境日本一推進会議」を通じた、社会全体で子育てを見守り支え合う環境づくり
- 子ども・親子の交流の場や子育て世帯の仕事場整備などを通じて、多様な主体と連携した「子育てにやさしいまちづくり」を推進
- 大学生が参画した子どもの居場所づくりを行うなど、地域の多様な主体と連携した「子育てにやさしい風土づくり」を推進

教育環境日本一

- 学校でのICT利活用を推進し、児童生徒の個々に応じた最適な学びの実現
- NPOやPTA等の地域団体が行う学校外教育などへの支援強化により、文化芸術体験活動や学校外教育の機会を創出
- スクール・サポート・スタッフの小・中・高校・特別支援学校への全校配置を進め、教員のサポート体制を充実

職場づくり

- 働きやすい職場づくりを実践する企業への支援を展開し、「子育てにやさしい職場づくり」を促進
- 男性の育児休業の取得促進など多様な働き方を進め、仕事と子育ての両立を促進
- コロナ禍により離職せざるを得なかった女性の非正規雇用労働者の再就職支援

4 文化力による京都再生

■概要

- ・京都の文化の特徴である、伝統文化から最先端の文化までが共存する「多様性」と、革新的な挑戦を許容する「寛容性」を再認識し、文化の衰退を食い止め、新たな文化を生み出す環境づくりを推進
- ・令和4(2022)年度の文化庁京都移転を契機とした新たな文化政策を京都から発信し、さらに、大阪・関西万博を生かして、京都・関西からの文化発信へと展開

■主な施策の事例

文化の継承

- 官民一体の地域文化・祭り等のネットワーク組織を構築し、地域を伴走支援しながら、伝統行催事を保存
- デジタル技術を活用した伝統行催事の記録保存により、新しい時代に対応した形で地域文化を次代へと継承
- 府立高校や府立大学との連携を進めることにより、伝統文化の担い手を育成・確保

文化の創造

- 北山エリアの整備など新たな文化・芸術の創造・発信拠点づくりを推進
- 京都文化を支える文化芸術団体の活動支援や若手芸術家の育成
- 「リアル」と「バーチャル」の双方による日常的な文化体験の場を拡充

文化の発信

- 文化庁移転や大阪・関西万博をターゲットとした日本文化の伝統・魅力を発信
- 歴史・風土・生活等文化を題材にして府全域でのアートプロジェクトを展開し、地域文化の魅力を発信
- 専門人材の配置による文化観光資源の発信や文化観光モデルツアーの実施などにより、新たな文化観光を推進

5 躍動の基盤の再構築

■概要

- ・雇用を中心としたセーフティネット対策の強化により、新たな格差の発生を防ぎ、府民の躍動の基盤を再構築
- ・府民の活躍の機会づくりを進め、包摂的で多様な人材が社会参画・活躍できる仕組みづくりを推進
- ・東京オリンピック・パラリンピックなどスポーツイベントの盛り上がりを府民の更なる躍動に結び付ける

■主な施策の事例

雇用

- 若者やひきこもりの方等を対象とした社会参加や就労準備の支援により、若者等が活躍できる環境を整備
- 失業者等の再チャレンジなど、相談から就労の定着に至るまでの支援などにより、セーフティネット対策を強化
- リモート等の活用によるひとり親家庭の相談や研修会などを通じて、就労・生活支援などをトータルサポート

絆・共生社会づくり

- 生涯現役クリエイティブセンターを活用し、企業在職中からセカンドキャリア形成のための交流等を支援
- 地域課題の解決や地域産業に貢献する人材の育成など、大学生16万人の「学生の力」を活用
- 留学生や外国人住民に対する地域における日本語教育の推進など、多文化共生施策を推進

スポーツ

- スポーツが持つ多様な価値を誰もが享受できる環境づくりを進め、健康で活力ある社会を実現
- 大規模な大会の開催や競技環境を支える人材の育成などにより、e-スポーツを普及・推進
- ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けて大会をPRし、国内外の誘客・周遊を促進

6 地域創生を加速させる新たな地域づくり

■概要

- ・多様な担い手が協働して、地域の魅力と持続可能性を向上させる取組を進めるなど、地域特性に応じた暮らしやすい環境づくりを総合的に推進
- ・生活圏域毎の拠点形成や拠点間のネットワークの構築など、地域資源、新技術、新しい府民の生活ニーズを融合させることにより、地域の未来像の実現を目指した取組を加速

■主な施策の事例

交流

- まちづくりを支援するDMOへと機能を強化し、ファンド活用による地域の賑わい創出や地域の稼ぐ力を醸成
- 住民・企業・団体等が連携したMaaSの導入など、ICTを活用した公共交通機関を拡充

移住・定住

- 多様化する移住ニーズや働き方に対応した、移住者が地域の担い手として活躍できる地域づくりを推進
- DMOと連携した情報発信や受入基盤強化による観光地の魅力づくりの促進

地域生活

- オンライン診療や高齢者とのコミュニケーションツール開発・導入など、デジタル技術を地域課題解決に活用
- NPOや大学生等の新しい公共の担い手育成を進め、地域コミュニティの維持、持続可能性を向上

生活基盤

- 公園やオープンスペースの利活用などにより、新しい生活様式を踏まえた生活環境を整備
- 京都府「北部」「中部」「南部」各エリアの地域づくりを加速し、地域の未来像を実現